

水辺愛護会通信

VOL. 1

発刊の辞

水辺愛護会制度は、地域の水辺環境を良好に保ち、市民が、快適に水辺とふれあい親しむことができるように、美化活動等を自発的に行うことを目的として、平成9年度に17団体でスタートし、平成21年度末では、89団体となり、年々増加しています。

現在では、清掃、除草活動だけでなく、自主的にさまざまな活動をしている団体が増えています。「水辺愛護会通信」の発刊により、自主的な活動などを紹介し、愛護会との情報の共有化が図れ、活動の充実がより一層図れることを切に願います。

横浜市道路局長 川口正敏

愛護会の紹介 その1 侍従川水辺愛護会(金沢区)

侍従川は昭和20年、30年代は生活排水で汚れきっていて、それでも子どもたちが、平気で川に入って魚を採ったり、トンボを採ったりして遊んでいたそうです。昭和60年代になって下水道が整備されるとともに、川がきれいになり生き物の姿も多くなったそうです。

現在、毎月1回清掃を行うことにより、川に生き物の姿が増え、ゴミを捨てづらくなっています。ゴミ捨て禁止看板より生き物の姿のほうが力になっているようです。

流域には様々な意見もあり、洪水が心配だから草などを全部取り除き、川の水を海に流すべきだ、という意見や、もっと手を加えず自然のままにしておこう、という意見などいろいろあります。これから時間をかけ話しあいしながら、かけがえのない財産でもある侍従川を次の世代に受け継ぎたいという熱い思いが伝わってきます。

(大道小学校コミュニティ文化祭に侍従川水辺愛護会の学生部が主になって侍従川水族館の展示に参加しました。侍従川の水質浄化のために植栽した葦を使った葦舟もいっしょに展示しました。)



葦舟・展示品 (大道小学校コミュニティ文化祭)

愛護会の紹介 その2 えんげい塾(戸塚区)

えんげい塾（戸塚区）では市民が快適に水辺とふれあい親しむことができるよう舞岡町小川アメニティの水辺施設と環境の維持管理に努めています。特に立地条件が地下鉄舞岡駅から舞岡公園に至る道路沿いの小川ですので、四季を通じて大勢の市民の行楽コースになっており、水辺の美観保持にも力を入れています。通常、毎月第一水曜日に草刈りと清掃作業を行っています。

このほか関連イベントとして春と秋の年2回横浜市緑の協会の“花やぐ街づくり”に参加しています。平成22年の秋（11月17日）には「ふるさと村・虹の家」の前（舞岡町小川アメニティ沿い）に置いてある花壇のほか、特別養護老人ホーム「和みの園」と「南戸塚地域ケアプラザ」のプランターにパンジーやノースポールの植栽を行いました。



舞岡町小川アメニティ沿いでの花壇の植栽

☆今後もいろいろな水辺愛護会を紹介したいと思います。「こんなイベントがあるんだけど」などお気軽にご連絡ください。（イベント内容によっては取材など行かせていただきます。）また、愛護会通信に活動紹介記事以外にも掲載したほうが良い記事がございましたらお気軽にご連絡ください。

発行：横浜市道路局河川管理課

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

電話 045-671-2855

Eメール do-kasenganri@city.yokohama.jp

発行日：平成22年12月16日

第1号